

令和5年度 一般社団法人 長崎県障害者スポーツ協会 事業報告

I. はじめに

令和5年度は新型コロナウイルス感染症もほぼ収まり、予定していた事業を概ね計画どおり実施することができ、地域におけるスポーツ活動を通じた障害者の交流も徐々に回復されてきた状況でした。

その中においても、障害者の健康体力の維持増進のための指導体制を整える目的で、パラスポーツ指導員のスキルアップ研修会を実施するなど積極的に取り組みました。

一方、開催が迫った「2024パリパラリンピック」に日本代表として出場を目指す、各競技の強化指定選手及び指導者の活動支援に取り組みました。

さらに、協会の組織強化の基盤作りを目的に「福祉販売」、「テーマ募金」などの事業も積極的に取り組みました。

II. 総 括

1. 会 議

(1) 総 会

令和5年6月18日(日)

- ・令和4年度事業報告について
- ・令和4年度収支決算報告について
- ・令和5年度事業計画について
- ・令和5年度収支予算について
- ・役員を選任について

以上について、それぞれ承認されました。

(2) 理 事 会

第1回 令和5年5月19日(金)

- ・役員推薦について
- ・令和4年度事業報告・収支決算報告・総会付議事項について

第2回 令和6年3月13日(水)

- ・令和5年度収支補正予算(案)・令和6年度事業計画(案)・収支予算(案)について
- ・令和5年度長崎県障害者スポーツ協会表彰について
- ・総会付議事項について

以上について、それぞれ承認されました。

(3) 正副会長会

第1回 令和5年4月27日(木)

- ・令和5年度第1回理事会提案事項について協議しました。
- 第2回 令和6年2月22日（水）
- ・令和5年度第2回理事会提案事項について協議しました。

Ⅲ. 実施事業

1. 第23回長崎県障害者スポーツ大会の開催（受託事業）

◎ 目 的

共生社会の実現に向け、ノーマライゼーションの理念のもと障害者スポーツを振興し、障害者のスポーツ活動の日常化と競技力の向上を図るとともに、より積極的社会参加と生活の質の向上に資することを目的として開催しました。

(1) 日時：令和5年5月28日（日）

(2) 競技種目・参加者数

競技会場	競技種目	参加者数
トランスコスモスタジアム長崎	陸上競技	287名
県立総合運動公園補助競技場	フライングディスク	96名
諫早市中央体育館（メイン）	ボッチャ	116名
諫早市中央体育館（サブ）	ユニカール	21名
大村市アーチェリー場	アーチェリー	6名
県立総合体育館（メイン）	卓球	67名
県立総合体育館（多目的室）	サウンドテーブルテニス	4名
長崎市民総合プール	水泳	61名
長崎ラッキーボウル	ボウリング	206名
参加選手合計		864名

(3) 参加者数

- ・選手数 864名
 - ・選手団役員数 104名
 - ・競技役員・補助員 380名
 - ・スタッフ数 69名
- 計：1,417名

2. 全国障害者スポーツ大会選手団強化練習及び派遣事業（受託事業）

◎ 目 的

障害のある選手が、障害者スポーツの全国的な祭典である本大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄与することを目的とします。

(1) 選手団の強化練習について

① 強化練習会場

個人競技：7競技 団体競技：4競技

競 技	練 習 会 場
陸 上 競 技	県立総合運動公園補助競技場・大村市陸上競技場
水 泳	長崎市民総合プール・ビートスイミング長与プール
ア ー チ ェ リ ー	佐世保市総合グラウンドアーチェリー場
卓 球	県立総合体育館（サブアリーナ・剣道場）
フ ラ イ ン グ デ ィ ス ク	県立ろう学校
ボ ウ リ ン グ	長崎ラッキーボウル
ボ ッ チ ャ	県立ろう学校
知的バスケットボール（男子）	長崎南山高等学校
聴覚バレーボール（男子）	諫早市新道福祉交流センター
聴覚バレーボール（女子）	雲仙市小浜体育館
知的サッカー（混合）	スポーツパークいさはや・長崎国際大学

② 実施回数：各競技2～3回

③ 練習日及び参加者数

競 技	練 習 日	選手数	役員数	合 計
陸 上 競 技	8月4日（金）・9月30日（土） 10月14日（土）	16名	9名	25名
水 泳	8月13日（日）・9月10日（日） 10月8日（日）	5名	3名	8名
ア ー チェリー	7月26日（水）・8月23日（水）	1名	1名	2名
卓 球	8月19日（土）・9月23日（土）	6名	4名	10名
フライングディスク	8月27日（日）・9月24日（日）	7名	2名	9名
ボウリング	9月18日（月）・9月23日（土）	3名	2名	5名
ボッチャ	8月19日（土）・9月3日（日）	2名	2名	4名
知的男バスケットボール（男子）	8月27日（日）・9月10日（日）	10名	3名	13名
聴覚バレーボール（男子）	9月24日（日）・10月1日（日）	11名	2名	13名
聴覚バレーボール（女子）	9月3日（日）・9月23日（土）	11名	4名	15名
知的サッカー（混合）	8月27日（日）・9月10日（日）	16名	3名	19名

(2) 選手団派遣について

① 長崎県選手団結団壮行式

「全国障害者スポーツ大会」と「国民体育大会」の結団壮行式が合同で実施されました。

・日時：令和5年9月14日（木）

・場所：県立総合体育館

② 特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」

・日時：令和5年10月28日（土）～10月30日（月）

・派遣：10月26日（木）～10月31日（火）

③ 長崎県選手団参加競技及び参加者数

競技会場	競技種目	参加選手数
鹿児島県立鴨池陸上競技場	陸上	16名
鴨池公園水泳プール	水泳	5名
あいハウジングアリーナ松元	卓球	6名
鹿児島県立サッカー・ラグビー場	フライングディスク	7名
指宿総合体育館	ボッチャ	2名
サンライトゾーン	ボウリング	3名
南栄総合体育館桜島アリーナ	バレーボール	22名
ビーラインスポーツパーク始良	バスケットボール	10名
国分運動公園陸上競技場	サッカー	16名
	合計	87名

◎選手：87名 役員：40名 選手団合計：127名

④ 獲得メダル数

金メダル 16個

銀メダル 10個

銅メダル 17個

計 43個

3. 障害者スポーツ普及・活性化事業（受託事業）

◎ 目的

障害者がスポーツを楽しみ、交流の場をもうけ、健康で明るい生活の促進を目的に、スポーツ・レクリエーション教室や競技力向上支援等の取組みを行いました。

(1) 障害者スポーツ人材バンク

障害者スポーツ指導者を登録する「障害者スポーツ人材バンク」を運営し、さら

なる活用に向けたPR活動を行い、障害者スポーツの活性化を図りました。

① 障害者スポーツ人材バンクの運営

・「障害者スポーツ人材バンク」に6名が登録しました。(現在116名)

② 制度周知のためのPR活動

- ・スポーツ・レクリエーション教室及び普及活動等において、「障害者スポーツ人材バンク」制度を紹介し、地域スポーツ活動への人材派遣について説明しました。
- ・登録者の中から、長崎県障がい者スポーツ指導者協議会からの推薦を得た6名を委嘱し、各地域に出向いて活動できる人材を「障害者スポーツ普及指導員」として、年間を通して活動しました。
- ・パラスポーツ指導員をスポーツ・レクリエーション教室等に派遣しました。
(障害者スポーツ普及指導員)・・・15カ所に延べ17名派遣
(人材バンク)・・・・・・・・・・18カ所に延べ36名派遣
(競技指導者)・・・・・・・・・・4カ所に延べ2名及び2団体派遣
【派遣状況計】・・・・・・・・・・26カ所に延べ55名及び2団体派遣

(2) 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

障害者スポーツの裾野を広げる取組みとして、地域団体、施設、特別支援学校等を調査し、スポーツ教室の実施を要請されるところに積極的に出向き、スポーツに取り組む楽しさと継続を指導しました。

① 普及研修会の開催状況・・・3カ所 約103名参加

・障害者スポーツ・レクリエーション教室を実施していくうえで、指導員等を対象とした研修会を実施しました。

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	6月15日	長崎国際大学	「障がい者スポーツ」講義	約30名
2	8月7日	「長崎市中学校特別支援教育研究部 体育交換会」事前ボッチャ研修会	ボッチャ	23名
3	2月23日	「障がい者修郎支援フォーラム」上五島	フォーラム講演	約50名

② 普及活動の開催状況・・・11カ所 784名参加 (イベント除く)

- ・従来のスポーツ教室やイベントの中で障害者スポーツを紹介して、体験していただきました。また健常者と一緒に障害者スポーツを体験し交流しました。
- ・3月9日・10日の「Harufes2024」(テレビ長崎主催)では来場者13,000名のうち多くの方が体験会に参加しました。

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	7月19日	県立対馬高校 障害者スポーツ体験 (球技大会)	ボッチャ	139名
2	7月25日	諫早市教育委員会多良見公民館「明生教室」	ボッチャ	21名
3	9月5日	佐世保市立鹿町小学校「親子レクリエーション」	ボッチャ	26名
4	10月9日	第25回長崎市民体育・レクリエーション祭	車いすパドミントン	14名
5	10月21日	第7回木谷隆行杯長崎県特別支援学校長会 ボッチャ大会	ボッチャ	91名
6	11月11日	第4回五島市長杯ボッチャ大会	ボッチャ	140名
7	11月20日	長崎市中学校特別支援教育研究部 体育交換会	ボッチャ	101名 (25校)
8	11月23日	「OFICA オフィな会ピアサポートネットワーク」 パラスポーツ交流会	ボッチャ	23名
9	12月4日	長崎市立虹が丘小学校 「人権集会 講話実技体験会」	車いすバスケットボール	101名
10	12月5日	長崎市立淵中学校「ボッチャ体験学習」	ボッチャ	128名
11	3月9・10日	Harufes2024 (テレビ長崎主催)	ボッチャ ヒットだ!ターゲット	来場者 約13,000名

③ 普及教室の開催状況・・・5カ所 133名参加

・依頼があった施設や、特別支援学校などでスポーツ・レクリエーション教室を行いました。

No.	開催月日	事業名	内容	参加者
1	5月5日	長崎市手をつなぐ育成会「スポーツ教室」	ボッチャ・フロッカー	31名
2	5月13日	高次脳機能に障害をもつ子どもと家族の会 「よりよりホームズ」	フロッカー	25名
3	10月5日	県立虹の原特別支援学校壱岐分校 体験会	バリアフリーディスクほか	20名
4	11月5日	長崎市手をつなぐ育成会「スポーツ教室」	ボッチャ・フロッカー	24名
5	3月16日	長崎手話サークル「ボッチャ教室」	ボッチャ	33名

(3) 各団体競技チーム等の競技力向上のための支援

- ① 団体競技の更なる振興・強化を図るために「競技力向上の支援」を行いました。
- ② 団体競技の練習会を視察し助言等を行いました。

4. 障害者スポーツ振興事業

(1) 地域スポーツ交流事業

① 障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催

地域ごとに障害者の親睦・交流を促進するとともに、障害者の心身の健康維持と体力増強、より積極的な社会参加の推進を図ることを目的に開催しました。

【障害者スポーツ・レクリエーション教室の開催状況（地域別）】※参加者 254名

No	開催月日	開催地区	会 場	実 施 種 目	参加者
1	9月27日	島原市	島原市有明公民館	ボッチャ	18人
2	10月5日	壱岐市	大谷体育館	ボッチャ・ユニカール フライングディスク	56人
3	11月12日	大村市	大村市立大村小学校	フライングディスク ボッチャ・フロッカー	37人
4	11月25日	時津町	時津町総合福祉 センター	ボッチャ	17人
5	11月26日	波佐見町	波佐見町勤労者体育 センター	ボッチャ・フロッカー	14人
6	12月6日	対馬市	豊玉町総合運動公園 体育館（パールーム）	フライングディスク ボッチャ・フロッカー	20人
7	12月14日	西海市	西海市総合福祉 センター	ボッチャ	36人
8	2月25日	南島原市	布津町 世紀の泉	フライングディスク・ ボッチャ・コーンホール	36人
9	3月9日	上五島町	新上五島総合福祉 センター	ボッチャ	20人

(2) 障害者スポーツ指導員養成事業

① 「パラスポーツ指導員（初級）養成講習会」の開催

日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員制度の規程に基づき開催しました。

- ・開催日：令和6年12月2日（土）・3日（日）・9日（土）・10日（日）
- ・開催場所：諫早市社会福祉会館・諫早市新道福祉交流センター
- ・受講者数：6名
- ・研修科目：講義【22.5時間】

月 日	研 修 科 目	時間
12月2日（土）	各障がいの理解の理解（I）	2.0
	各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫（※実技）	3.0
12月3日（日）	スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質	1.5
	コミュニケーションスキルの基礎（※演習を含む）	1.5
	パラスポーツに関する諸施策	1.5
	パラスポーツ推進の取り組み	1.5

12月9日(土)	安全管理	2.0
	パラスポーツの意義と理念	2.0
	全国障害者スポーツ大会の概要	2.0
12月10日(日)	障がいのある人との交流(※実技)	1.5
	各障がいの理解の理解(Ⅱ)	4.0
	合計	22.5

② パラスポーツ指導員の育成

○日本パラスポーツ協会公認パラスポーツ指導員を地域スポーツ教室及び普及事業等へ指導者として派遣しました。

○「パラスポーツ指導員スキルアップ研修会」を開催しました。

- ・開催日：令和5年8月6日(日)
- ・会場：諫早市中央体育館
- ・参加者：公認指導員19名 一般19名
- ・研修内容：長崎県障がい者スポーツ指導者協議会と連携し、協会登録の競技団体の協力を得て実施しました。

(3) 障害者スポーツに関する調査研究事業

各県及び指定都市が進めている障害者スポーツ振興の現状や課題、並びに、パラスポーツの動向等の報告を含む、今後のスポーツ振興についてのビジョン等を共有し、情報交換を通じて交流することを目的としています。

- ①「全国障害者スポーツ大会障害区分判定研修会」への参加
 - ・令和5年7月8日(土)・9日(日) 佐賀勤労者総合福祉センター
- ②「パラスポーツ九州ブロック連絡協議会」への参加
 - ・令和5年7月11日(火) 福岡クローバープラザ
- ③ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト「パラリンピック競技基礎測定会」九州ブロック・鹿児島会場(基礎測定会における運営として協力)
 - ・令和5年12月24日(日) ハートピアかごしま
- ④「公認中級・上級パラスポーツ指導員育成研修会」への参加
 - ・令和6年2月10日(土)・11日(日・祝)
- ⑤「障がい者スポーツ協議会合同会議(全国)及び情報交換会」への参加
 - ・令和6年3月8日(金) ロイヤルパークホテル水天宮前

(4) 障害者スポーツ活動等支援事業

- ① 令和5年度長崎県障害者スポーツ協会表彰

永年にわたり本県障害者スポーツの普及・強化にご尽力いただいた企業に特別功労賞、5名に功労賞、3名に優秀指導者賞、本年度国内の主要な大会で顕著な成績を収めた6名1団体に優秀選手賞への授与について、令和6年2月28日（水）開催の令和5年度の長崎県障害者スポーツ協会被表彰者の審査会提案をもとに、3月13日（水）開催の第2回理事会において承認されました。

【特別功労賞】

- ・株式会社九州ガスホールディングス：高額のご寄贈による

【功労賞】

- ・内野 孝幸：ユニカール競技における永年の功労による
- ・山田 幸：知的バスケットボール競技における永年の功労による
- ・木下 貴雄：聴覚バレーボール競技における永年の功労による
- ・山崎加津子：聴覚バレーボール競技における永年の功労による
- ・飯田 勝年：水泳競技における永年の功労による

【優秀指導者賞】

- ・柴田 浩志：水泳競技における永年の指導功績による
- ・戸上 敦史：陸上競技における永年の指導功績による
- ・中尾 政弘：聴覚バレーボール競技における永年の指導功績による

【優秀選手賞】

- ・臼木 大悟：2023Virtus グローバルゲームス 100m、200m 第1位
- ・西山 蓮：第2回 NAGASE カップ 陸上競技大会 4×100m リレー 第1位
(ID 日本記録更新)
- ・宮野 颯馬：第38回日本 ID 陸上競技選手権大会 砲丸投げ 第2位
- ・大石 透：特別全国障害者スポーツ大会 ジャパリックスロー 大会新記録更新
- ・森田 悠月：2023 ジャパンパラ水泳競技大会 400m 自由形 第1位
- ・太田 歩美：ITT New Taipei Para Open 2023 女子ダブルス 優勝

(5) 広報・公聴事業

① 協会だより等の発行

- ・協会だより35号（1,700部）、36号（各1,800部）を発行しました。
- ・ホームページの随時更新を行いました。

主な内容

1. 県大会・全国大会・パラスポーツ等に関する情報、報告など
2. 登録団体の活動情報、報告など
3. 地域における障害者スポーツの情報、報告など
4. 各種大会等のお知らせ

② 各種報道機関へ障害者スポーツ選手の情報提供

地元報道機関へ積極的に障害スポーツの情報を提供し、多くの県民に障害者スポーツ選手の活躍状況を周知しました。

IV. 物品販売事業の推進（福祉販売）

本協会は、障害者スポーツの振興による障害者の社会参加促進に取り組んでおり、自己財源確保及び本協会正会員団体の活動費を確保するため、福祉販売に取り組みました。

売り上げ実績

【単位：円】

販売団体	総売上額	団体販売手数料	協会手数料
会員26団体	2,618,700円	658,140円	803,670円
スポーツ協会	405,000円	—	233,880円
計	3,023,700円	658,140円	1,037,550円

※協会手数料には商品代の消費税等を含む

V. 障害者スポーツ活動等振興助成事業

障害者スポーツ振興助成要綱に基づき申請された30団体59事業に対し、各種大会への派遣事業及び開催事業に対して助成しました。

VI. 赤い羽根募金「テーマ募金」

(1) 「テーマ募金」助成金による活動報告

① アスリート活動

陸上競技、卓球競技、水泳競技、バスケットボール競技の各強化指定選手の強化合宿参加経費等に対して助成しました。(7名)

② 団体競技活動支援

「全国障害者スポーツ大会九州ブロック予選会」出場に向けての練習会等に対して助成しました。(7チーム)

③ 全国大会派遣選手団活動助成

全国大会に派遣する各選手等へ強化練習会、派遣時の活動助成をしました。

④ 九州ガスホールディングス杯 2023 長崎県障がい者ボッチャ大会開催

令和5年10月7日(土)諫早市中央体育館において、新型コロナウイルス感染症が終息していない中での開催となりましたが、障害のある人とない人が共に「ボッチャ」を楽しむ一日となりました。

参加者：個人28人 団体23チーム(66名)

⑤ 競技用具購入

地域スポーツ振興のため、競技が盛んなボッチャ競技の用具等を購入しました。

「テーマ募金」助成金内訳

【単位：円】

	助成事業名	事業総経費	テーマ募金
1	アスリート活動	520,000 円	520,000 円
2	団体競技活動支援	210,000 円	210,000 円
3	全国大会派遣選手団活動助成	380,571 円	380,571 円
4	九州ガスホールディングス杯 2023 長崎県障がい者ボッチャ大会開催	563,975 円	477,975 円
5	ボッチャ競技等用具購入他	109,044 円	109,044 円
	計	1,783,590 円	1,267,590 円

(2) 募金活動の取り組み

令和5年度赤い羽根募金（令和6年度助成）テーマ募金（使途選択募金）へ昨年に続き参加し、多くの方のご理解とご協力を得て、目標額を達成しました。

事業名：障害者スポーツ普及強化事業

活動概要：・国内外の主要大会・合宿等に参加するトップアスリートへの活動支援
 ・団体競技の強化支援や全国障害者スポーツ大会に参加する選手団への活動支援
 ・障害者のスポーツ活動の場を広げる大会の開催
 ・地域における障害者スポーツ啓発活動の事業推進

募集期間：令和6年1月1日（月）～3月31日（日）

目標額：1,000,000円

募金額：1,691,683円（70件）

昨年実績：1,622,402円（71件）

VII. サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の給付

サントリーチャレンジド・スポーツアスリート奨励金の助成事業に取り組みました。

・アスリート：太田歩美（卓球競技）

ITTF New Taipei Para Open 2023 等国内外の主要大会出場の強化取り組みの支援。現在世界ランキン21位を獲得

・活動支援団体：県障害者卓球協会（一般卓球）・県視覚障害者協会（盲人卓球）
 卓球競技活動団体として、県外参加事業の支援

VIII. その他の事業

(1) 2023年度長崎新聞文化章受賞

土岐 達志：本協会長が永年、地域における福祉活動に伴う障がい者のスポーツの

普及、育成、発展に尽力した功績により表彰されました。

(2) 賛助会員について

本協会の組織強化、事業充実を図るため、自己財源確保を目的に賛助会員の増員に取り組みました。

◆令和5年度の賛助会員数

- ・団体賛助会員・・・・・・・・・・34【1団体増】
- ・個人賛助会員・・・・・・・・・・817【109名増】

(内：特別支援学校【分校・分教室を含む】19校775名の教職員)

(3) 障害者スポーツ用具の貸し出しについて

本協会管理のスポーツ用具を貸し出し、障害者スポーツの普及に役立てました。

競技用具	借用回数	借用団体
ボッチャ	26	長崎女子商業高等学校ほか
競技用車いす	11	長崎サンライズほか
フロッカー	1	長崎県視覚障害者協会
卓球バレー	1	長崎市障害福祉センター
グランドゴルフ	1	長崎市手をつなぐ育成会 さんらいず
バリアフリーディスク	1	こころ医療福祉専門学校
ヒットだ！ターゲット	1	こころ医療福祉専門学校
展示用パネル	1	大村市身体障害者団体連合会